



# よきかな若人



12月を迎え、2学期の活動も終盤にさしかかってきました。初雪も降り、これから厳しい冬を迎えますが、学校内では各学年、来年を見据えながら、日々の授業やさまざまな活動に取り組んでいます。11月中旬には来年の生徒会新三役が決まり（会長：久保田創太くん 副会長：外谷匠望くん 町田乙寧さん）、新生徒会スタートの準備を始めています。15日には生徒総会、引継ぎ会が行われます。



## <全国学力学習状況調査結果>

1学期に3年生を対象に国語・数学の2教科で実施された全国学力学習状況調査は、各教科の正答率は全国平均を上回る結果でした。特に、主として知識・技能の活用を見るB問題の正答率が国語・数学ともに高く、本校が取り組んできた思考力や表現力の育成に重点をおき、生徒同士による学び合いの授業の成果が現れてきたものであると思われます。成果が見られた取り組みを継続しつつ、さらに生徒の学力を高めるために次の点を課題に改善を図ります。国語では「目的に応じて資料を効果的に活用する」、「事実と考えとの関係に注意し、構成を工夫して話す」、「要旨を捉える力」に課題が見られました。そこで、筆者の主張がどこに書かれているのかを見極めさせつつ、生徒自身の読みを叙述をもとに読み分けてさせていく点を課題として捉え、今後授業改善を図っていきます。また、数学では「資料と活用」の領域が正答率でやや低い結果でした。「等式を目的に応じて変形する」、「二元一次方程式の解の意味を理解する」にも課題が見られました。思考のもととなる技能をドリル的な学習を取り入れて高めさせながら、文字の意味を理解させたり、具体事象と結びつけて方程式の解の意味を理解させたりする授業改善を図っていきます。



## <学校自己評価アンケート結果について>

保護者の皆様には、前期学校評価でのご協力ありがとうございました。生徒や保護者の皆様の学校評価をもとにして、2学期の重点となる活動を設定し、以下のようなことを大切に取り組んできました。

- 「生徒の説明する力、表現する力を高めるための指導のあり方」を研究テーマに据え、「思考・判断・表現のつながりを意識した単元・題材づくり」と「関わりの中での聞く、話す態度の定着」の2つを重点においた授業改善（公開授業を通しての教職員の力量の向上）
- ねらいを明確にした社会体験学習（防災学習、職場体験、「飯綱町への提言」学習発表会）の充実
- 自主的、計画的な家庭学習の充実、e-plan(自主学習、学習の振り返り)の時間の有効活用
- いじめや不登校に対応するための教職員間の情報の共有化と職員集団としての対応等

### <授業公開の様子>



<飯綱町への提言>



<職場体験学習>



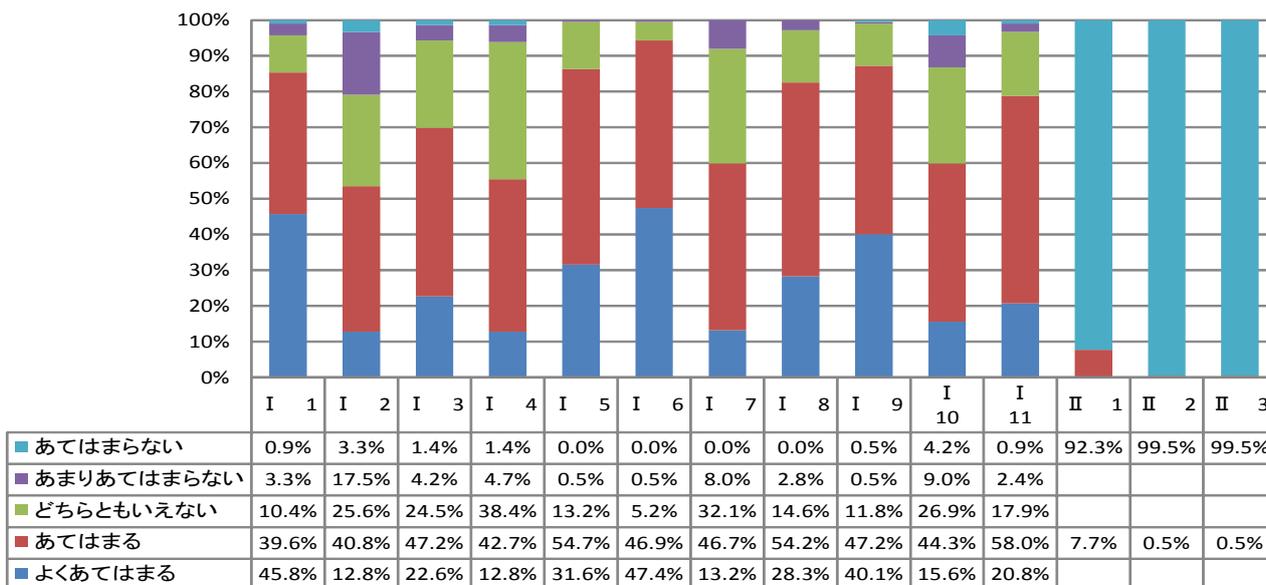
<防災学習>



保護者アンケート項目

- I-1 お子さんは、安心して登校している。
- 2 お子さんは、学校で学習したことはおよそ分かっている。
- 3 自主的な学習への姿勢作りのために、家庭学習を1週間分提示し、各自学習計画を立てて取り組むようにしていることはよい。
- 4 家庭学習（宿題）の内容は、量、質ともに適切である。
- 5 学力向上や生徒理解のために、e-plan という時間を設け、自主学習や個別相談を行う取り組みはよい。
- 6 学力向上のために、英語や数学のティームティーチング（教員二人）授業はよい。
- 7 生徒たちは、地域の中や校内で気持ちのよい挨拶ができています。
- 8 生徒たちは、服装・持ち物・行動など生活全般においてきまりを守って行動している。
- 9 人間関係づくりに目標を定めた修学旅行、宿泊体験学習はよい。
- 10 生徒の生活力を高め、自立した生活を作るための「手作りお弁当の日」や健康旬間での「生活づくりカード」による振り返りはよい。
- 11 学校・学年からの通知や便りを通して、学校の様子がわかりやすく伝わってくる。
- II-1 今年度になって、お子さんはいじめや差別をされている。
- 2 今年度になって、お子さんはいじめや差別をしている。
- 3 今年度になって、お子さんは体罰を受けた。

保護者アンケート結果



アンケート結果をふまえて、課題とされる項目については、学校運営検討委員会等で検討し、改善を図ってまいります。また、来週、後期の学校自己評価記入用紙を封筒に入れて配付させていただきますので、ご協力をお願いいたします。